

# ようこそ

いっしょにいこうえ!



(上) 「いっしょにいこうえ」  
まず私たちから  
はじめます。  
晃照住職と教恵坊守



(左) 円光寺『しんらんさま  
750プログラム』を  
発表する住職  
(2009年1月16日)

第 15 号  
浄土真宗本願寺派  
円光寺  
〒870-0108  
大分市三佐3-15-18  
TEL097-527-6916  
FAX097-527-6949

## ご勝縁に会う

親鸞聖人七五〇回大遠忌までいよいよ三年になりました。平成23年4月9日からご本山で大遠忌の法要が勤まりますが、最後のお勤めが三年後の平成24年1月16日聖人の祥月の御命日です。

ご勝縁と申します。有り難いことに、私たちはこのたびの七五〇回大遠忌に遇わせていただくことができますのです。この次は50年後の八〇〇回の大遠忌です。私もそうですが、50歳以上の方は大方次のご縁に遇うことは難しいと思います。だからこそ、私たちはこのたびのご縁に遇わせていただく慶びをかたちに、具体的な行動にうつさなければならぬと思うのです。

報恩ということですが。親鸞聖人の御恩に報いる、私ができる精一杯のことをさせていたただきたいと思えます。それはこの私がお念仏に生きるということ、お念仏に生かされる喜びを隣の人に伝えて、共々にお念仏をよろこび申す身にさせていたただくことです。

このご勝縁に、「いっしょにいこうえ」われら念佛同行」をスローガンに、円光寺「しんらんさま750プログラム」をつくりました。

お寺をそしてご門徒をおあずかりする住職として、ご門徒はじめ地域の方々にも広くお寺を開放し、一人でも多くの人に仏さまのご縁に遇ってほしい、共々に親鸞聖人七五〇回大遠忌に遇わせていただきたいと思います。

1月16日の親鸞聖人祥月命日のご縁にお参りの皆さんにプログラムの内容をお話ししました。

まず、私からあなたに「いっしょにいこうえ」と声をかけます。そして、あなたからまたあなたへと……お念仏の輪が一つ一つ幾重にも広がってほしいと願います。

# われら念仏同行!

「いっしょにいこうえ」

## 親鸞聖人七五〇回大遠忌のご勝縁に、

### 共々に遇わせていただきますしよう

#### 私からあなたへ

円光寺「しんらんさま750  
プログラム」を進めます。

「いっしょにいこうえ」と呼び  
かけます。

「はい」と応えて、自ら手をあ  
げましょう。

私にできるお手伝いをお互い  
にさせていただきますよう。

#### 報恩のこころをかたちに

「いっしょにいこうえ」と、次  
の提案をいたします。

あなたのできるところで、ご  
一緒しましょう。

一、ご本山にご一緒しましょう。

① 本山(京都西本願寺)の大遠忌  
法要にお参りしましょう。

② 帰敬式(おかみそり)を受けて、  
法名をいただきますよう。

★「帰敬式ツアー」を実施します。  
二、お寺のご縁にご一緒しまし  
よう。有縁の方に「一緒に行こ  
うえ」と声かけをしましょう。

## ご案内

### ◆前々坊守50回忌祥月命日法座

2月10日(火) 10:00~11:30

### ◆春彼岸会

3月19日(木) 11:00~14:00

同 19:30~21:00

3月20日(金) 13:30~15:00

### ◆花まつりの会

4月 7日(火) 9:00~12:00

(白象パレード、新1年生を  
祝う会)

### ◆宗祖降誕会

5月17日(日) 10:00~15:00

(初参式、バザー、もちまき)

“月に一度は  
お寺参りしましょう”

- ① お寺の大遠忌法要(平成23年  
11月)にお参りしましょう。
  - ② ご法座にお参りしましょう。
  - ★「月に一度は寺参り」スタン  
プラリーを続けます。
  - ③ おあさじにお参りしまし  
よう。
  - ★誕生日の記念仏参りませ  
んか。
  - 三、御恩報謝の生活を、共  
々にさせていただきますよう。
  - ① お寺の活動行事にご一緒  
しましょう。
- ★円成会、仏壮会、仏婦会、仏  
青会、子ども会、百華のつど



第1回帰敬式ツアー(1月11日)  
6人のお同行がご本山でおかみそり  
を受け法名をいただきました。

- いに参加しましょう。
- ② お家のお仏壇を中心に、念  
仏家庭生活をおくりましょう。
- ★お仏壇をきれいにし、日々  
仏さまにお礼をしましょう。
- 四、お浄土への人生を、共  
々に歩んでいきましょう。
- ★自ら浄土真宗門徒(念仏同行)  
を名のりましょう。

## 世々生々

アメリカの新大統領に  
バラク・オバマ氏が就任  
した。根強い人種差別の  
歴史をもつ国で、初めて  
の黒人大統領の誕生だ。  
その意義は深い。◆オバ  
マさんの演説が注目だ。キー  
ワードは「チェンジ」。果たしてアメ  
リカは本当に変わるのか。出口  
の見えないテロとの闘い、未曾  
有の経済金融危機と、大きく重  
い課題がのしかかる。◆アメ  
リカは善くも悪くも世界の中心、  
一国単独主義では全てが行き詰  
まってしまふ。協調の世界へ、  
ここは変わらなければならぬ。  
そこで「イエス・ウィ・キャン  
(はい、私たちはできる)」「自信  
を取り戻し連帯して共々にやつ  
ていこう」というわけだ。◆重ね  
合わせて、お念仏の教えを聞く。  
念仏は「我にまかせよ、必ず救  
う」の阿弥陀さまのおよび声、  
「大丈夫だよ、私がいるよ、安  
心なさい」とおはたらきだ。  
弥陀をたのむ私は「はい」とた  
一言、「おまかせします、阿弥陀  
さま」と。◆私ひとりじゃなかつ  
た。阿弥陀さまが一緒だ。そ  
してお念仏の仲間がいた。よう  
こそ、あなたと南無阿弥陀仏。  
どのような状況にあらうとも、  
あなたがいるから生きていける。  
お念仏申す身の幸せを思う。

「いっしょにいこうえ」と、次  
の提案をいたします。  
あなたのできるところで、ご  
一緒しましょう。  
一、ご本山にご一緒しましょう。  
① 本山(京都西本願寺)の大遠忌  
法要にお参りしましょう。  
② 帰敬式(おかみそり)を受けて、  
法名をいただきますよう。  
★「帰敬式ツアー」を実施します。  
二、お寺のご縁にご一緒しまし  
よう。有縁の方に「一緒に行こ  
うえ」と声かけをしましょう。

# お朝事『法話』より

## 連れ合い

今日11月22日は、語呂合わせで「いい夫婦の日」というそうです。日本は世界の長寿国になり、男性も女性も平均寿命が延びましたが、夫婦で妻が先に亡くなった男性の寿命は短く、逆に夫が先立つと女性の寿命がずっと延びるというデータがあるそうです。

「亭主元気で留守がいい」と川柳にあります。定年まで夫は会社で働いて留守の間は妻の天下ですが、定年で一日中家の中をウロウロしている夫を見て、妻はうつつとうしいといいます。定年後、夫は妻と一緒に旅行に行きたいけれど、妻は夫より友達と一緒にいきたいといいます。

何とも男性は片身が狭いものですが、夫婦とは二人で夫婦といえます。連れ合いです。どちらからも連れ合いといえます。人生の旅を共々に連れ合って行くということでしょう。

私たちは連れ合いということになります。夫婦といい、親子といい、兄弟といい、それは個々のご縁でありますが、お浄土への旅を共にするお互いが、お念仏の仲間、お念仏の兄弟であつたと聞こえてくると、人と人とのつながりももつと楽しいものになるのではないのでしょうか。



門徒報恩講地域法座(12月18日、本町・石崎祐一様宅)

## 後生の一大事

後生ごしょうの一大事と申します。後生とは生きた後、死んだらどうなるということですが、これほどの大事はないといい、生死しよじの一大事ともいわれます。親鸞聖人は生死いずべき道を求めて、比叡山で20年間仏道修行にはげまれました。

生死は生と死と書きますが、私たちの日常は生きることばかりに精一杯です。生きることにとらわれ死というものを忘れていくといつていいと思います。死ぬということを考えない、いや考えたくない私がいいます。

先日、豊後高田の山田泉さんという方が50歳で亡くなりました。2000年に乳ガンを発症した山田さんは、中学校の保健室の先生でした。保健室に来る子どもは体だけでなく心の悩みをもつた子どもが多く、親や友達との人間関係に悩み揺れ動き自ら命を絶つこともあります。山田さんはそうした子ども達と向き合うなかで、命の尊さを、命を大切に生きてほしいと、いのちの授業をされてこられました。山田さんは、自らの死を見つめるなかにはじめて命の大切さ、今を生きることの大切さを知らされたといわれます。

生死いずべき道とは、誰しも避けて通れない死という視点に立って今を生きるということですが、まさに阿弥陀さまのお救いはそこにあります。お念仏に生きる者は、阿弥陀さまのおはたらき一つで、命終わつたそのときに、お浄土に往生させていただき、さとりのおさまに成らせていただくのです。

その救いは死んでから後ではなく、私たちは今ここに、阿弥陀さまの大きな大きなお慈悲のなかに生かされてあるのです。必ず仏に成るいのちと聞かせていただくなかに、私たちは色々なことがあっても、この人生を今日の一日を確かに確かに生きていくことができるのです。

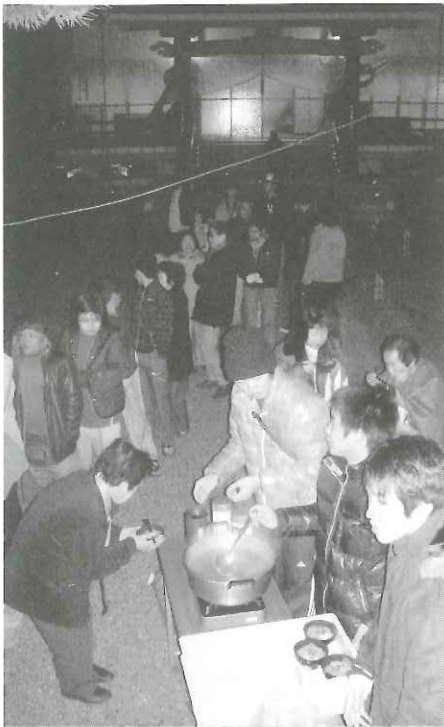
(12月4日)



町角伝道掲示板(12月のことば、出町・田仲進様宅前)

(11月22日)

# 除夜会



除夜の鐘つきに、長い行列ができ、参詣者に年越そばをふるまいました。(12月31日)

27日の大速夜は、ご門徒衆の奏樂のなか三義恵真専念寺住職(野津原)にご出勤いただき、にぎにぎしい法要になりました。



内陣出勤、(左)住職 (右)専念寺殿

## 御正忌報恩講

(11月26日～28日)



ほれほれと仏法聴聞  
吉村隆真講師 (熊本市良寛寺住職)

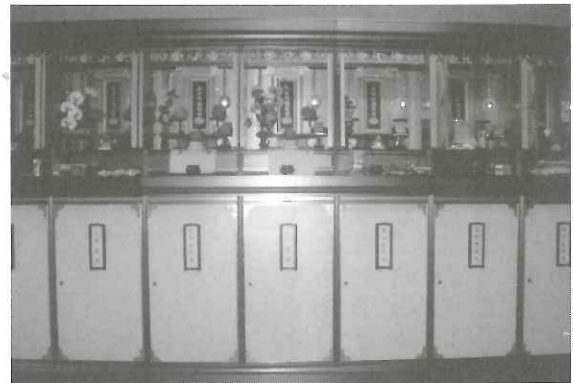


こども報恩講 (11月26日)  
今年は紙芝居を上演しました



毎年、宗祖祥月御命日のご縁に、鏡開きのおもちでぜんざいをいただきます(1月16日)

おいしいぜんざいを  
ご一緒にしました



おもちゃいろんなお供えて  
ととにもぎやかな納骨堂です(1月1日)

## お正月の納骨堂

ご門徒参りにいって、仏さまのお供えをいただいて帰る。お菓子や果物、手作りまんじゅうや採りたての新鮮野菜をいただくこともある。有り難い。今日はばあちゃん命日だからと、朝早くから好物の石垣だんごを作ったんだと思うと、何だか心があたたかくなる。お寺のご縁に、お家の一品を持ち寄ってくださる。有り難い。みんなでいただく。食すれば心和み、自然と話がはずむ。これもお寺参りの楽しみ。仏さまのご縁につながった者同士、あなたにあえて、本当によかった!

## あとかぎ



報恩講に向けて大掃除の後で(11月15日)